
「駄目人間」が友達作りをしたようです。

夕闇終夜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「駄目人間」が友達作りをしたようです。

【Nコード】

N5185Y

【作者名】

夕闇終夜

【あらすじ】

僕は賊に言う「駄目人間」だ。。「駄目人間」こと中学二年生の伊澄^{いずみ}望^{のぞむ}はある日、自分とは違う「人間関係」に悩む生徒と出会う事になる。「駄目人間」と自分で罵しつつ、呼ばれつつ。「人間関係」に悩む生徒と「駄目人間」の、グダグダでありながら、普通とちよつと違いながらも何とか楽しく(?)送る学校生活の物語。

Prologue

《駄目人間》。

僕は賊に言うそういう類の人間だ。

全く、何で僕はこんな捻じ曲がった人間に出来上がったのだろうと、自分でも疑問に思っている。

人生で一度も「成功」をした事がない僕は「失敗」続きの連続だ。そして今も「失敗」続きの毎日を送っている。

カツンツカツンツ

けれども不思議な事に僕は一度も自分から死のうと思ったことが無い。

バンツ

カシャンツ

屋上のフェンスの前に立ってみる。

人は誰しも空を飛んでみたい、という欲があるという事を聞いたことがある。

このまま僕が手を離せば、どうなるかは眼に見えている。

「・・・」

「弱虫」

「何とでも言え」

僕は「独り言」を言って屋上を後にした。

《引きこもり》。

俺は俗に言う、引きこもりと言う奴だ。

イジメが原因 という理由もあるけど、用は疲れたからだ。
人間関係に。

今は家でネットゲームに嵌っている。

ゲーム内なら、誰も傷つかないからだ。

現実逃避、とでもいえはいい。

でも俺にとっては、ゲームが現実で、学校生活が夢だ。

この密室空間が俺の世界。

見知らぬ外が、俺の夢。

俺はこの世界に不満なんて無かった。

（当たり前だ。楽しいことも無いんだから）

けれどもそれでいい。

《トーヤさんが入場しました》

そんなログが入って、黒色の髪と眼の、死神の様な少年のキャラクターがゲームのチャットルームに入ってきた。

それにしても、トーヤ？

そんなキャラクター名のプレイヤーが来るのは初めてだ。

それに、このチャットルームにはパスが……。

画面をしばらく見ていると、

『はじめまして』

『……はじめまして』

『それとも、久しぶりかな』

『久しぶり……？どっかで会った事あるの？』

するとそのプレイヤーはキャラクターを「笑う」のアイコンを使ってキャラを笑わせた。

『早く学校来いよ』

何だかバカにされた気がして、俺はチャットを出た。

アレは誰だったんだろう。
俺は部屋の隅で頭を抱えて座り込んだ。

《It continues》

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5185y/>

「駄目人間」が友達作りをしたようです。

2011年11月17日21時32分発行